

第一回演奏会  
**派閥無し！**  
with Andy Vores

2012.8.17

19：00～

日暮里サニーホール コンサートサロン

## ～ プログラム ～

1. 長谷部正樹 Tesla No. 3 “Wardenclyffe” for string trio
2. 近江典彦 Drop 6 pour flauto trio(2012) (初演) \*
3. 黒田崇宏 日常会話集ーバス・フルートとヴィオラのための (初演)
4. 山本和智 「乱声」フルートと弦楽三重奏のための (2009) (初演) \*\*

## ～ 休憩 ～

5. 木山 光 String Trio
6. 北爪裕道 sparking for flute solo
7. Andy Vores Fabrication 8: Semblance for string trio (初演)

## ～ 演奏者 ～

Flute	多久潤一郎
Violin	竹内 弦
Viola	多井千洋
Violoncello	山澤 慧
Conductor *	近江典彦
Conductor **	北爪裕道

## 1. 長谷部正樹

### Tesla No. 3 “Wardenclyffe” for string trio

長谷部正樹  
まだ

私は天才マッドサイエンティスト Nikola Tesla(1856-1943) の大ファンで彼の言動からインスピレーションを得て書いた作品をテスラシリーズと名付け、現在四つの作品が完成しています。テスラシリーズ三番目となるこの作品はタイトルからお察し出来る通りテスラが設計した Wardenclyffe Tower からインスピレーションを得た作品です。Wardenclyffe Tower と言うものは電波送信を目的とした電波塔で、ただ単に無線で通話やラジオ用の電波を飛ばせるだけでなく、世界中のどこにでも無線で電力を供給出来ると言う優れ物でした。残念ながらこのタワーは制作途中で資金を打ち切れ完成には至りませんでした。どのようにしてこのインスピレーションを使ったかは企業秘密ですが一つだけネタバレをしますと、キーワードは”未完”です。

## 2. 近江典彦

### Drop 6 pour flauto trio(2012)

近江典彦  
1984年東京生まれ。東京音楽大学研究員。

先ずこの場をお借りして、演奏者の方に感謝致します。とても難しい奏法だらけの作品で、演奏者の皆さんの努力無しには演奏出来ない作品でした。

タイトルの Drop ~ ですが、これはスーツの胴体部の細さを表す表記法で、Drop6 だどだいたい普通の人位ではないかと思えます。数字が大きくなる程細くなります。

難しい奏法や細かい音形が多いので、お聴きになるともっと細身の指定でも良いのではと言われると思いますが、曲の内容は細さとはあまり関係無く、どちらかというとなスーツの外からは見えない中の部分（内ポケットとかある側ではなく）にある、スーツの形を支える最も重要なパーツである芯地のちょうドラペルの部分、ここに職人が縫い込む「ハ刺し」と呼ばれるものをイメージして書きました。

針と糸を使い生地を縫い合わせて一つのスーツが完成するように、一つ々々の音や音形が三人の奏者の演奏により重なりあって、テーラー（採寸、デザイン）と Cutter（縫製）の関係の様に、作曲と演奏により一つの芸術作品となっていれば光栄です。

## 3. 黒田崇宏

### 日常会話集ーバス・フルートとヴィオラのための

黒田崇宏  
まだ

まだ

## 4. 山本和智

### 「乱声」フルートと弦楽三重奏のための (2009)

山本和智

1975年山口県生まれ。独学で作曲を学ぶ。従って派閥なし。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範に亘り、作品は東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ヴォクスマーナ等の演奏団体・演奏家らによって日本をはじめカナダ、フランス、ドイツ、オランダ、ベルギー、アメリカ、ロシアなどで広く演奏されている。2009年度武満徹作曲賞第2位(審査員:ヘルムート・ラッヘンマン)、第5回JFC作曲賞(審査員:近藤譲)など受賞多数。

誰かのためとかでなく、ただ衝動的に書いてしまい初演を迎えることのない作品というのが私には少なからずあります。この作品もそういったものの一つです。

3年という隔たりに、私の中で変化は多分にあったわけですが、敢えて加筆や修正といったものを施さず演奏することとしました。正直に言えば、「そんな時間がなかった」というのが正しいのですが、3年前の私に起こった「衝動」を聴いてみたかったというのも、本音としてあるからです。

しかし、ひょんなことからこうして素晴らしいプレイヤーによって演奏の機会を得たりするのですから、人生って不思議なものですね。多久、竹内、多井、山澤、北爪各氏にこの場を借りて厚く感謝致します。

## 5. 木山 光

### String Trio

木山 光

東京音楽大学を卒業。

ソナタ形式 その意味を辞書より引用すると＜ソナタ形式は楽曲の形式のひとつ。古典派の時代に大きく発展した楽曲形式である。古典派ソナタや、古典派ソナタに類似している交響曲、独奏協奏曲、弦楽四重奏曲などの、第1楽章や終楽章に多く見られるところからソナタ形式と呼ばれている。ソナタ形式=ソナタの形式ではない。＞図式化に終始しかねないこの音楽に多元性と主題の二面性を模索した作品。

## 6. 北爪裕道

### sparkling for flute solo

北爪裕道

まだ

まだ

Andy Vores

まだ

私は良く曲の構成にも反響する比較的複雑な標題要素を含む曲を書きます。しかし同時に私はある一定のプロセスやエフェクトが展開する曲を書くのも楽しめます。

Fabrication 8 (ファブリケーション エイト) は 32 の楽章から構成されるサイクル、Fabrications(ファブリケーションズ) のの一つで、楽章ごとに異なる楽器編成が使用されます。楽器編成は小さいものでデュオから、大きいもので室内楽オーケストラまであります。Fabrications では比較的機械的なアプローチで曲を生み出す事を追求している作品です。すべての楽章には Fabrication という言葉と同義の、曲その物を物語る副題がついています。

Fabrication 8: Semblance (ファブリケーション 8、うわべ) はシリーズの中でも比較的長めの曲で、シリーズの中でも珍しい、楽章が用いられている作品でもあります。

この作品はダンスに伴う音楽を書くと言う委嘱からスタートした作品ですが、作品が出来上がるのを待っている間に振付師がバッハのチェロ組曲を聞きながらダンスの制作を初めてしまい、最初の 3 楽章が出来上がったところにはバッハがダンスの主格となってしまい私の作品は必要が無くなってしまいました。

この作品の 5 つの楽章はチェロ組曲を断片的な記憶から自由に再想像して書かれています。

1 と 3 と 4 楽章が比較的風格的な一方、2 と 5 楽章は moto perpetuos、常動曲です。

翻訳 長谷部正樹

## ～ 演奏者プロフィール ～

### flute 多久潤一郎

---

『演奏』の新しい可能性を常に提示し続けるフルート界の革命児。現代音楽や民族音楽の技法をポップアレンジする作風で、自作自演を軸に活動中。

ソリストとしては新日本フィルハーモニーはじめ様々なオーケストラと協奏曲を共演、また次世代型フルート団体『マグナムトリオ』リーダーとしては日本ツアーのみならず海外での公演も行っている。

TV、CMのレコーディングなども多く「おかあさんといっしょ」「いないいないばあ」などの教育番組や菅野よう子氏が音楽を手がける「創世のアクエリオンEVOL」「坂道のアポロン」などを担当。先年ヒットした映画「のだめカンタービレ」では首席フルート奏者兼、ピアニカソリストを務めた。東京藝術大学卒業。

### violin 竹内 弦

---

4歳よりヴァイオリンを始める。

東京都立芸術高等学校を経て東京芸術大学を卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。

これまでにヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、原谷百代、岡山潔、松原勝也の各氏に師事。

現代音楽団体、Ensemble Bois メンバー。

オーケストラ、室内楽、現代音楽等、幅広く活動中。

### viola 多井千洋

---

これまでにヴァイオリンを杉山笙子、故・東儀幸に、ヴィオラを竹内晴夫、クロード・ルローン、百武由紀、川崎和憲に師事。

愛知県立芸術大学卒業、東京芸術大学修士二年に在籍中。

第21回レ・スプレンドル音楽コンクール室内楽部門第一位。

### violoncello 山澤 慧

---

東京芸術大学附属高校、同大学を経て、同大学院を2012年3月に修了。

大学卒業時に同声会賞受賞。

第1～3回泉の森ジュニアチェロコンクール銅賞。

松方ホール音楽賞弦楽器部門奨励賞受賞。市川新人オーディション優秀賞。

江戸川区新人コンクール第1位。第1回秋吉台音楽コンクール入賞。

第10回ビバホールチェロコンクール第3位。

学内に於いて、芸大フィルハーモニアとドヴォルザークのチェロ協奏曲を共演。室内楽定期演奏会に出演。

音川健二、藤沢俊樹、河野文昭、西谷牧人、鈴木秀美、山崎伸子の各氏に師事。

チェロアンサンブルXTC、アンサンブル室町メンバー。